



お花見

桜のもとで春を祝うならわし



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

お花見の入り口	3～5
桜という花	6～8
お花見を楽しむ	9～10
桜とことば・こころ	11～13
くらしの中の桜	14～15
見る・体験する	16～17
おさらいしよう	18～22
練習しよう	23～25
伝えてみよう	26～28
まとめ	29～30

お花見ってなに？

お花見がどんな行事か知ろう。

お花見とは、桜の花をながめて、春の訪れを祝う日本の習わしです。公園や川べり、お寺や神社などに桜の木の下に集まり、花を楽しみます。
家族や友だちとお弁当を食べたり、写真をとったりしながら、桜の美しさを味わいます。



花見

はなみ／hanami

桜の花をながめて楽しむこと

満開

まんかい／mankai

花がすべてさいている状態

ポイント

- お花見は、春を祝う気持ちと、自然の美しさを味わう気持ちの両方からできています。
- 桜がさく期間は短いため、その短さも楽しみの一つとされています。

やってみよう

- お花見をしたことがありますか。そのときのことを書いてみよう。

ワンポイント 桜の花がさく期間は、1本の木でも1週間から10日ほどといわれています。

書いて覚えよう

その後、平安時代になると、貴族たちの間で桜を愛でる文化が広まっていったといわれています。



- 江戸時代になると、桜の木が各地に植えられ、庶民もお花見を楽しむようになったといわれています。
- 貴族の行事から、多くの人が楽しむ春の行事へと広がっていきました。

やってみよう

1. お花見が、いつごろから広まったか、もう一度読んで確かめよう。

書いて覚えよう

桜にはたくさんの種類があることを知ろう。

河津桜

花の形や色、さく時期は、種類によってちがいます。

- 日本には、野生の桜と、人が育ててきた桜を合わせて、数多くの種類があるといわれています。
- 花びらの枚数や色の濃さも、種類によってさまざまです。

1. 近くで見たことのある桜の種類を1つ書いてみよう。

ソメイヨシノ・しだれ桜

代表的な2つの桜の特徴を知ろう。

ソメイヨシノ

広く植えられる桜

江戸時代の終わりごろに生まれたといわれる品種

花の色

うすいピンク色で、葉より先に花がさく

しだれ桜

枝がたれる桜

細い枝が下にたれるように育つ

古い木も多い

お寺や神社に古木が残ることがある

ポイント

- ソメイヨシノは、今の日本でもっとも多く植えられている桜の一つといわれています。
- しだれ桜は、たれた枝いっぱいにながさく、はなやかな姿が特徴です。

やってみよう

- ソメイヨシノとしだれ桜、写真を見て見た目のちがいを書こう。

書いて覚えよう

桜前線とはなにかを知ろう。

さくらぜんせん / sakura zensen

桜が開花していく様子を、地図の線で表したもの

ポイント

- 日本は南北に長いので、桜がさく時期は地域によって大きくちがいます。
- 暖かい地域から順にさきはじめる、北の地域へと少しずつ移っていくといわれています。

やってみよう

1. 自分の住む地域では、桜はいつごろさくか調べてみよう。

書いて覚えよう

お花見の名所・夜桜

桜を楽しむ場所と、夜の楽しみ方を知ろう。

お花見の場所いろいろ

公園

お城のまわり

川ぞいの土手

神社・お寺

並木道

地域ごとに、昔から親しまれているお花見の場所があります。

夜桜

よざくら / yozakura

夜にライトアップされた桜を見て楽しむこと

ポイント

- 夜桜は、昼間とはちがう、しっとりとした美しさが楽しめます。
- 夜に出かけるときは、大人といっしょに、足元に気をつけましょう。

やってみよう

1. 自分の地域のお花見の場所を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

お花見のお弁当・花見だんご

お花見といっしょに楽しめる食べ物を知ろう。

花見だんご

はなみだngo/hanami dango

ピンク・白・緑の3色を重ねただんご

お花見弁当

おはなみべんとう / ohanami bento

外で食べやすいよう工夫されたお弁当

ポイント

- 花見だんごの3色には、春・冬・夏を表すなど、いくつかの言われがあるといわれています。
- 見た目も春らしく、写真にもよく映える食べ物です。

やってみよう

1. 花見だんごを食べたことがありますか。

ワンポイント 外で食べるときは、ごみを持ち帰り、まわりを汚さないようにしましょう。

書いて覚えよう

お花見のマナー

気持ちよくお花見を楽しむためのマナーを知ろう。

ポイント

- 桜の木の枝を折ったり、花をむやみに取ったりしないようにしましょう。
- 場所取りをするときは、まわりの人のじゃまにならないよう気をつけましょう。
- 食べ終わったごみは、必ず持ち帰りましょう。

やってみよう

1. お花見に行くとき、気をつけたいことを1つ書こう。

ワンポイント たくさんの人が同じ場所を楽しむからこそ、まわりへの心づかいが大切です。

書いて覚えよう

桜のことば・桜の歌

桜にまつわることばや歌を知ろう。

花吹雪

はなふぶき / hanafubuki

桜の花びらが雪のように舞い散る様子

桜色

さくらいろ／sakura iro

桜の花のようなうすいピンク色

ポイント

- 桜にまつわる言葉には、花の美しさや、その短いのちを表すものが多くあります。
- 「さくらさくら」という古くから伝わる歌は、多くの人に親しまれています。

やってみよう

1. 「花吹雪」ということばから、どんな景色を思いうかべますか。

書いて覚えよう

桜と日本人の心

桜が日本人の心にどう結びついてきたか考えよう。

ポイント

- 桜は、美しくさいたあと、短い間で散っていく花です。
- そのはかなさに、ものごとの美しさを感じる心が、昔から大切にされてきたといわれています。
- 入学式や新しい年度の始まりが桜の季節と重なることも、桜への特別な思いにつながっているといわれています。

やってみよう

1. 桜を見て、どんな気持ちになりますか。

書いて覚えよう

梅見・桃見

桜より先にさく花を楽しむ習わしも知ろう。

梅見（うめみ）

さく時期

冬の終わりと早春

香り

よい香りが楽しめる

桃見（ももみ）

さく時期

春の初めごろ

行事

ひな祭りとも結びつく花

ポイント

- ・ 奈良時代の貴族は、桜よりも先に梅の花を愛でていたといわれています。
- ・ 桃の花は、ひな祭りのかざりとしても親しまれています。

やってみよう

1. 梅・桃・桜、見分け方を1つ調べてみよう。

書いて覚えよう

俳句や和菓子にも桜が生きていることを知ろう。

さくら / sakura

俳句で春を表す季語の一つ

さくらもち / sakura mochi

桜の葉で包んだ、春の和菓子

- 俳句では、「桜」は春を表す季語として、多くの句によまれてきました。
- 桜餅は、塩づけにした桜の葉の香りが楽しめる、春を代表する和菓子です。

1. 桜が出てくる俳句や歌を1つさがしてみよう。

散る桜のよさと、今のお花見の楽しみ方を知ろう。

今は、昼間のピクニックだけでなく、夜桜見物や写真をとる楽しみ方、地域の祭り
と合わせて楽しむ人も多くいます。



- 散り際の美しさを味わう心も、桜が長く愛されてきた理由の一つといわれています。
- 楽しみ方は一つではなく、自分に合った過ごし方を見つけられます。

1. 今年、どんなお花見をしてみたいですか。

実物の花を見ると、写真だけではわからない香りや風合いにも気づけます。

- 桜の季節でなくても、写真や資料館の展示で桜の文化にふれることができます。

1. 身のまわりで桜を見つけたら、気づいたことを書こう。

16

体験してみよう

桜の楽しみを、実際に体験してみよう。

花見だんごの色を考えてみよう

① ピンク・白・緑の3色に、どんな意味があるか予想する。② 実物や写真を見て確かめる。③ 家族や友だちと感想を話す。

ポイント

- 近くの公園などで、桜の木の様子を観察するのもよい体験になります。
- 食べ物を用意するときは、大人といっしょに行いましょう。

ワンポイント 花見だんごなどを作るときは、火や道具の扱いに気をつけ、大人といっしょに行いましょう。

書いて覚えよう

由来と意味をおさらい

お花見にまつわる言葉の意味をおさらいしよう。

言葉	意味
花見	桜の花をながめて楽しむこと
桜前線	桜が開花していく様子を表す線
花吹雪	花びらが舞い散る様子
夜桜	夜にライトアップされた桜
桜餅	桜の葉で包んだ和菓子

ポイント

- 言葉の意味を知ると、お花見のニュースや会話もより楽しめます。

やってみよう

- いちばん好きな言葉を1つえらぼう。 _____

書いて覚えよう

地域によるちがい

お花見の楽しみ方は、地域によってさまざまです。

地域のちがい	例
さく時期	南の地域から北の地域へ少しずつ移る
名所の種類	お城・川べり・並木道など地域で異なる
食べ物	地域ごとに親しまれる和菓子がある

ポイント

- 「日本のお花見はこうだ」と決めつけず、地域による楽しみ方のちがいを知ることも大切です。

やってみよう

- 自分の地域ならではののお花見の様子を書こう。

書いて覚えよう

よくある疑問

お花見についての、よくある疑問に答えます。

疑問	こたえ
桜はいつごろ見ごろ？	地域によってちがいが、桜前線で予想されます。
どの桜がいちばん多い？	ソメイヨシノが広く植えられているといわれています。
桜はなぜ短い期間で散るの？	花の性質によるもので、そのはかなさも味わいとされています。

ポイント

- わからないことは、図鑑やニュースで確かめてみるのもよい方法です。

やってみよう

1. ほかに知りたい疑問があれば書いてみよう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

お花見を気持ちよく過ごすための注意点を知ろう。

ポイント

- 桜の木を傷つけたり、枝を折ったりないようにしましょう。
- 混み合う場所では、まわりの人への配慮を忘れないようにしましょう。
- ごみは必ず持ち帰り、来たときよりきれいにして帰りましょう。

ワンポイント 写真をとるときは、他の人が写りこまないよう気をつけると、みんなが気持ちよく過ごせます。

やってみよう

1. お花見で気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

お花見の基本

☐ 花見

桜をながめて楽しむこと

☐ 満開

花がすべてさいている状態

☐ 桜前線

開花の様子を表す線

桜の種類

☐ ソメイヨシノ

広く植えられる桜

☐ しだれ桜

枝がたれる桜

☐ 八重桜

花びらが多い桜

桜と食べ物

☐ 花見だんご

3色を重ねただんご

☐ 桜餅

桜の葉で包んだ和菓子

桜とことば

☐ 花吹雪

花びらが舞い散る様子

☐ 夜桜

夜のライトアップされた桜

☐ 桜色

うすいピンク色

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、お花見がもっと楽しくなります。

書いて覚えよう

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、身近な人に話してみよう。

好きな桜の種類

行ってみたい場所

食べてみたいもの

今年やってみたい
こと

Ken の例

好きな桜の種類 しだれ桜／行ってみたい場所 近くの公園／食べてみたいもの 花見だんご／今年やってみたいこと 夜桜を見に行く

ポイント

- 話すときは、意味や由来も一緒に伝えると、もっと興味をもってもらえます。

書いて覚えよう

春に桜の花をながめて楽しめます、という意味

花びらが雪のように散る様子を表す表現

そう。海外にも、桜を楽しみに来る人がたくさんいるんだよ。

1. 上の表現を使って、友だちにお花見を紹介してみよう。

もっと知りたい人へ

お花見の世界は、まだまだ広がっています。

もっと知りたい人へ

公園へ

近くの桜の名所に出かける

図鑑で

桜の種類を調べる

資料館で

花見の歴史の展示を見る

次に学びたいテーマ

年中行事

1年を通した季節の行事

和菓子

季節を映す日本の菓子

俳句・季語

季節をよみこむことば

ポイント

- この教材の次におすすめなのは「年中行事」。季節と結びついた文化を、さらにくわしく学んでいきます。

書いて覚えよう

お花見チャレンジ

教室の外でも、お花見はすぐに楽しめます。

見つけよう

近くにある**桜の木**を見つける

味わおう

花見だんごや桜餅を食べてみる

伝えよう

お花見の楽しみ方を家族に話す

こたえ

L28 花見→オ 花吹雪→エ 夜桜→イ ソメイヨシノ→ウ 桜餅→ア
2. 桜前線 / 花見だんご / 桜餅

L33 (例) お花見とは、桜の花をながめて春を祝う日本の習わし。

書いて覚えよう

お花見 (Season 2 | No.14)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。